

## 鳥取砂丘の風紋

砂漠の映像を見ることがある。広大な砂漠は見渡す限り地平線まで続く。砂漠にも様々な種類に分類されるであろうが、茶色い微粒子の様な砂で覆われた砂漠は見ている限りでは美しい。風に作用で地形は絶えず動いているようだ。よく見ると波型をした模様が見える。まるで砂の芸術だ。

これまで鳥取砂丘を何度か訪ねたことがある。ここでも見事な波型の紋様を見ることが出来た。これは風紋といわれるもので風速毎秒 5m～10m の風が吹くときに出来る紋様である。風紋の波長は 3～15m、波高は数ミリから 1cm がよく観察される。特に足跡が残っていない誰も歩いていない所を見ると自然の力の素晴らしさを感じられる。

更に砂の斜面に積もった湿った砂が乾燥する過程で、しばしば砂が集団で流れ落ちることがある。この流れが暖簾を垂らした様な景観となることから砂簾と名付けられている。茶色く湿った斜面を白く乾いた砂が流れ降り、途中で停止するために起こる自然が織りなす芸術だ。

世界にはアフリカに最も大きいサハラ砂漠がある。東西 5600km、南北 1700km に広がっている。他にはオーストラリア、アラビア、北アメリカ、ゴビ、タクラマカン等々。これら陸地に対する砂漠の面積の割合は約 4 分の 1 である。それは日本の面積の 95 倍にもなる。今まさに地球は様々な要因から砂漠化が進んでいるという。



撮影 2016 年秋

